

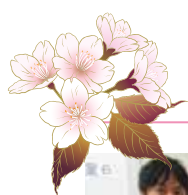
平成26年度新研修医オリエンテーション



4月1～8日に、新規採用研修医(医科31名、歯科6名)オリエンテーションが宮崎大学医学部附属病院で開催されました。期間中、研修医は症例プレゼンテーションや患者コンサルトの技法、診療録記載法、医薬品や輸血の取り扱い、院内感染対策などの講義を受け、他職種とのパートナーシップの築き方や臨床倫理の考え方など、医師に求められる態度についても学びました。また、医療シミュレータを用いた基本手技実習や救急蘇生講習といった実践的研修を通じて、臨床基本技能の訓練にも励みました。

毎年恒例となった研修医親睦会では、今年は先輩の2年次研修医が積極的に企画・開催して下さったこともあり、例年にも増して先輩・後輩の絆が深く、強いものになりました。ちなみに、2年次研修医が自分たちの身を削って作成した自己紹介冊子は、今後の卒後臨床研修センターでも永く語り継がれる渾身の出来映えでした…。

これから2年間、大学病院を中心に県内各地の多くの医療機関でも研修をさせていただきます。厳しくも温かいご指導とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



新研修医の声



Voice

1年次研修医

田平優貴

(写真中央下)

今年度から研修をさせていただくことになりました、田平優貴です。ついに長年の目標であった、医師としての第一歩を母校、宮崎大学から踏み出します。研修を始めるにあたり、喜びや期待、そして同時に不安もあります。しかし、志を同じくして大学とともに学んできた友人、先輩や先生方が近くにいることは非常に心強く感じています。

これから少しでも地元宮崎の医療に貢献できるよう、日々研鑽を積んで参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。



Voice

1年次研修医

廣瀬裕美

(写真左)

宮崎大学で研修させていただくことになりました、廣瀬裕美です。私は宮崎県出身なので、将来は宮崎県の医療に貢献したいと思い宮崎大学での研修を選択しました。私は患者さん1人1人と向き合い、1人でも多くの患者さんを治療して心から喜ばれるような歯科医師になりたいと思っています。しかし、私は技術、知識ともにまだまだ未熟でこれから多くの困難に直面することになると思います。不安でいっぱいですが、どんなことにも負けず愚直に頑張っていきたいです。一日一日を大事にし、日々研修に励みたいと思います。



協力型臨床研修病院紹介



協力型 野崎病院

「皆さんへ」 院長 大塚和之より

当院は認知症（県指定の認知症疾患医療センターです）をはじめ症例が豊富で、内科・歯科等との連携や画像診断についても学べます。これからの30年間は認知症が、精神科のみならず広く医療の主流になると考えます。一緒に迷って、悩んで研鑽を積んでいきませんか。私もこの病院で研修しましたが、15年後に戻ってきた際は温かく迎えてくれました。皆さんにも研修後20年経っても、ここで研修して良かったと思えるような学び・温かみのある病院でありたいと思っています。



協力型 海老原総合病院

当院は「地域に根差した医療」を目標に、急性期から療養まで幅広い医療を提供しています。また、大学病院の逆搬送システムの窓口の役目も果たしており、大学をはじめ他の病院とも密接に協力し合い患者および患者家族の要求に可能な限り応えることを大切にしています。ある限られた病期にのみ患者と接するのではなく、急性期や術前・術中・術後は勿論の事、緩和ケアや終末期も含めて全人的な医療を学ぶ機会を提供する事が出来る施設です。



研修プログラムお助け Q&A



【第3回】研修中に体調不良を生じた時の対応について

Q 現在M病院で研修中です。昨日より発熱と悪寒があり、インフルエンザなどの可能性もあるので、今日の午前中は勤務を休んで病院を受診したいと思います。このような場合、誰に連絡すればよろしいでしょうか（質問者：研修医YYさん）

A 研修中の体調不良は誰にでも生じる可能性があります。体調不良は、典型的には
①一過性かつ短期的（通常の上気道炎や胃腸炎など）、
②勤務先から出勤停止の指示が出る（インフルエンザやノロウイルス感染症、流行性角結膜炎など）、③長期に及ぶあるいは明確な回復時期が予測しにくい状況（入院加療を要する疾病への罹患や妊娠に伴う体調不良など）、に大きく分けられます。

研修医のみなさんがローテート先病院を休む場合は、「勤務を休む」とこと「研修を休む」とことの2つが発生していることを知っておいて下さい。前者の観点からは研修先病院での勤務規定にも関わりますので、必ず研修先病院の指導医と事務部へご連絡して指示を仰いで下さい。後者の観点からは、研修修了に必要な研修日数の評価に関わるため、大学卒業センターへの連絡も行って下さい。対応例をまとめると以下のようになります。

【協力型研修病院・研修施設で勤務を休む場合の対応例】

状況例	ローテート先 指導医への連絡	ローテート先 事務部への連絡	大学卒業センター への連絡	診断書提出
①一過性・短期の体調不良による欠勤	必要	必要	必要	必須ではない
②出勤停止を指示される感染症での欠勤	必要	必要	必要	必須
③長期に及ぶor明確な回復時期が予測しにくい休暇	必要	必要	必要	必須

研修休止理由が正当なものであるかどうかは、最終的には研修管理委員会での判断となります。したがって、②や③の場合には、診断書の提出をお願いすることになります。特に③のような場合には、まずは卒業臨床研修センターへご相談下さい。
(回答者：副センター長小松)

平成 25 年度卒後臨床研修センター修了式

平成26年3月24日(月)に卒後臨床研修センター修了式が開催され、医科40名、歯科7名の研修医が研修を修了し、修了証を手に入れました。併せてベスト指導医賞とベスト研修医賞の表彰も行われ、指導医の先生からのお祝いの言葉や、ベスト研修医受賞者が今後の抱負などを述べました。それぞれの先生が新たな環境への門出の日となりました。



■宮崎大学研修修了後の進路

	平成17年度 修了者	平成18年度 修了者	平成19年度 修了者	平成20年度 修了者	平成21年度 修了者	平成22年度 修了者	平成23年度 修了者	平成24年度 修了者	平成25年度 修了者
宮崎大学・大学院	30	16	18	19	29	25	21	12	29
宮崎県内病院	4	2	2	2	1	0	1	1	2
県外大学・病院等	2	8	3	5	6	9	3	9	9
合計	36	26	23	26	36	34	25	22	40

■平成25年度 ベスト研修医賞

氏名
古郷 央一郎
佐々木 朗
土田 真平

■平成25年度 ベスト指導医賞

順位	氏名	所属病院
1	廣兼 民徳	宮崎善仁会病院
2	岩切 弘直	都城市郡医師会病院
3	安部 智大	宮崎大学 救命救急センター

順位	氏名	所属病院
4	三宮 一郎	宮崎大学 第一内科
5	松田 俊太郎	宮崎大学 地域医療学講座

ベスト研修医・指導医からのメッセージ

ベスト研修医 古郷 央一郎

(写真右)

2年間というのはあっという間でしたが、私は将来は精神科に進むつもりでしたので、出来るだけ精神科以外の、「今」しか出来ない科や病院を選択しました。精神科は3ヶ月、それ以外は救命救急センターや脳外科、麻酔科などをローテーションさせて頂き、おかげで刺激的で充実した研修となりました。もちろん研修で学んだことも大切ですが、今まで培った人と人とのつながりを財産として、これから長い医師生活を楽しんでいきたいと思えます。また、この2年間の研修を無事修了できましたのも、岡山先生、小松先生を初めとする皆様のおかげだと感謝しております。厚く御礼申し上げます。



ベスト指導医 三宮 一郎 先生

(写真中央下)

ベスト指導医4位の栄誉を頂きました。指導といっても、研修医(children)に私が行ったことは「基本の知識」「簡単な手技」「酒飲んでふざける」程度でした。その他の事はすべて第一内科の諸先輩方に研修医と共に指導を頂いていた次第です。この賞は当科の代表として頂戴したものと考えており、これを期に第一内科の指導が今後さらに熱(苦)しいものとなる事を願っております。研修医の皆さん、本当に2年間お疲れ様でした。今後も成長を期待しています！





研修センターコラム

「私のお薦めの一冊」

旭吉 雅秀先生 (卒後臨床研修センター教員)

第一外科での研修を終えて大学外の病院に出向する先生に勧める一冊があります。安達洋祐先生が書かれた「外科研修の常識チェック」(金原出版)と、いかにも試験対策のようなタイトルですが、中身は外科研修に限らず一般診療に役に立つ虎の巻風の小冊子です。しかしそればかりでなく、研修医に限らず医者としての心構えについても厳しく鋭く書かれているところが推薦する大きな理由です。例えば「医師の世界は閉鎖的であり、医師は身勝手になりやすい。社会人としての最低限のマナーを身につけよう。」「画像所見や病状説明は、そのつどカルテに記入し、医療スタッフのだれもがわかるようにする。」と当たり前のことではありますが、日常の診療で我々が忘れかけていることを思い出させ、易きに流れがちな自分を戒めるには最適の一冊ではないかと思えます。今でも時々目を通してはいますが、その度に反省している自分が情けなくなります。もし気になる方がいらっしゃったら卒後臨床研修センターの本棚を覗いてみてください。



先生紹介

河野 太郎先生 (卒後臨床研修センター教員)

本年1月より当センター配属となりました。私は、平成4年卒の麻酔科医で、以来関心のある領域を広く浅く?学んできました。卒後はいずれ専門領域を学んでいくわけですが、蘇生学・外傷学・災害医学・緩和ケア・プライマリケア(家庭医学・病院総合診療医学)などの共通領域も近年急速に変容しており目が離せません。若手に負けないよう新しい事を学んでいかねば、と思う今日この頃です。今後ともよろしく願いいたします。



行事案内

4月	1日(火)~8日(火)	平成26年度 研修医オリエンテーション
	22日(火)	保険診療説明会/新研修医祝賀会
6月	6日(金)	平成26年度医師臨床研修マッチング説明会 宮崎県7基幹型病院説明会
	19日(木)	平成26年度医師臨床研修マッチング参加登録開始
	下旬	研修指導医対象研修評価説明会
8月		マッチング面接(予定)

なんでも
掲示板

研修『何でも掲示板』への原稿・記事募集!

研修に関する情報共有、意見交換の場として『何でも掲示板』のコーナーを開設します。内容は研修に関することなら何でも結構です。これは研修医に知ってほしいという情報、メッセージなどをぜひお寄せください。みなさまからのご応募をお待ちしております。

- 例)【内容】 研修医や指導医へのメッセージ、研修関連勉強会の案内、トピックスの紹介など
 【字数】 200~400字程度
 【図表】 1点まで可(掲載できるサイズが小さくなります。)

※センター通信発刊月は毎年3回(4,8,12月)です。

宮崎大学 医学部 総務課 卒後臨床研修係 (内線: 2385/2386)

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200
TEL:0985-85-1864 / FAX:0985-85-3101
E-mail:sotugo@med.miyazaki-u.ac.jp